

助成事業実施報告書

団体名 子ども食堂★ラブセット
代表者・役職名 氏名 代表 原 睦実

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂★ラブセット

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

子育ての孤立・孤独による困りごとの解消、対話の場づくり、顔を合わせる機会を作るため。
どのようにして:管理栄養士による調理企画の低価格弁当販売を一般に告知し申し込みをもらう。困りごとについては連携先サービスなどを利用した相談等の支援につなげる。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

「結果」 2024年4月1回、5月～2025年3月まで月2回、全23回参加者延べ230世帯1,150人。
シングル世帯、共働き世帯の忙しいママの利用が多かった。

「成果」 あけぼのアート&コミュニティーセンターさんと共催し、町内会を通して地域の方に広くお知らせできたことで、地域の利用者に届けられた。顔を合わせて話をすることで、同じように困っている人と出会い、経験者からの話をヒントに困りごとを解決できていることが多い。

「社会的な変化」 子ども食堂が低所得者の子どもだけの利用ではなく、誰もが利用できる地域食堂として、テイクアウトも選べることで、物価高騰の中、安く栄養のバランスが良いお弁当を購入できた。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

「課題」 夕方の子ども食堂開催時のボランティア確保が難しい状況であった。
子育てがひと段落した方や高齢の方など世代を超えて交流ができる場作りを同時に行い地域で愛される子ども食堂にしていくことがボランティア増加につながる。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

大人も使える地域食堂



子ども食堂★ラプセット

札幌市の
共催です

毎月 第2.4 水曜日開催
16:00~18:00

6/14.28	7/12.26	8/23.30	9/13.27	10/11.25
11/8.22	12/13.27	1/10.24	2/14.28	3/13.27

〈開催場所〉

あけぼのアート&コミュニティセンター 交流室または音楽室
札幌市中央区南11条西9丁目4-1

〈お食事代〉

保護者300円 子ども200円 大人500円
先着順・事前予約あり

Cafeうさぎの
出張販売もあります

アレルギー非対応

イートイン、テイクアウト
どちらも選べます！

LINE ID @295rkiei

予約や詳細問い合わせは、
キートス公式LINEにて。
まだの方は是非ご登録を！



ココロ・カラダ・トノリ発達支援
全国展開こどものエライカフェとのコラボです

【注意】 予期せぬ事情により内容や日程が変更になる場合があります。
詳細は公式LINEでご確認ください。

この事業は真知利の協成を受けて実施しております